

「睡眠時低換気合併慢性閉塞性肺疾患に対する非侵襲的人工呼吸療法の有用性に関する研究」へご協力をお願い

－2013年4月1日～2016年4月30日までに当院において睡眠時低換気合併慢性閉塞性肺疾患に対する非侵襲的人工呼吸療法を受けられた方へ－

当院では「睡眠時低換気合併慢性閉塞性肺疾患に対する非侵襲的人工呼吸療法の有用性の検討」を実施しております。具体的な内容は以下の通りです。患者様ご自身のこの研究への登録の有・無については主治医にお問い合わせ下さい。

1. 研究の意義と目的

本研究は、慢性閉塞性肺疾患の患者さんにおいて、睡眠時低換気の有無が及ぼす影響と睡眠時低換気を合併する慢性閉塞性肺疾患に対する非侵襲的人工呼吸療法の有用性を検討することを目的としています。当院において、睡眠時低換気を評価した患者さんを後ろ向きに検討することによって、睡眠時低換気の臨床的意義と睡眠時低換気合併慢性閉塞性肺疾患に対する非侵襲的人工呼吸療法の効果や安全性などを検証します。本研究の結果を基に睡眠時低換気合併慢性閉塞性肺疾患に対する非侵襲的人工呼吸療法に関する臨床研究の立案に寄与することが期待できると考えています。

2. 研究の方法

- 1) **研究対象**：2013年4月1日から2016年4月30日に当院で睡眠時低換気を合併する慢性閉塞性肺疾患に対して安定期非侵襲的人工呼吸療法が導入された患者さんが対象となります。
- 2) **研究期間**：2017年許可日～2017年12月31日
- 3) **研究方法**：2013年4月1日から2016年4月30日に睡眠時低換気を合併する慢性閉塞性肺疾患に対して安定期非侵襲的人工呼吸療法を受けた患者さんの状態を調査票に記入します。回収した調査票を集計して解析を行い、治療効果や安全性などを評価します。
- 4) **調査票等**：この研究は倫理委員会の承認のうえ実施されます。カルテに記録されている以下のデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

調査する項目：患者さんの状態（年齢、原疾患、併存疾患、転帰）、非侵襲的人工呼吸療法の設定・使用状況（使用日数）、動脈血液ガス検査、血液検査、呼吸機能検査、心臓超音波検査など

- 5) **情報の保護**：調査情報は当院で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2017年12月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
呼吸器内科 医員 北島尚昌
大阪市北区扇町2丁目4番20号
06-6312-1221